楽しいと思える学校、充実感のある学校、誇りに思える学校を目指して

さかえ

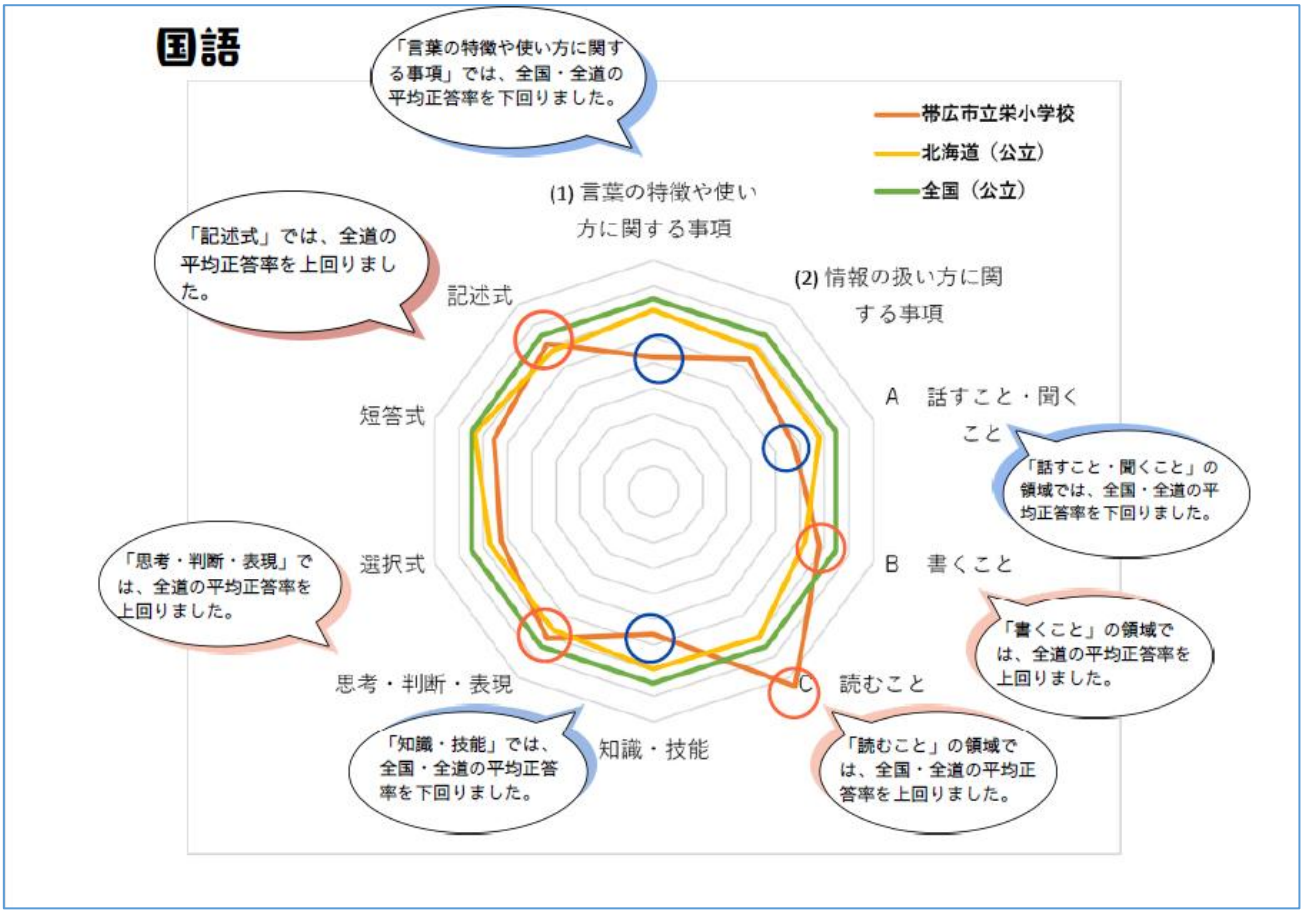
学校便り　NO．１６
令和８年１０月１５日
帯広市立栄小学校
文責　校長　新川　和範

今年度の重点：児童の願いに寄り添い、力を引き出す教育の実現　　合い言葉：みんなヒーローになろう

令和８年度　全国学力・学習状況調査の結果について

第6学年を対象に行われた全国学力・学習状況調査における本校の結果等について、その概略をお知らせいたします。本調査により測定できるのは子どもたちが身に付けるべき学力の一部分であり、教育活動の一側面であることを踏まえながら、これまでの指導との関連を図りつつ今後の指導に生かしてまいります。

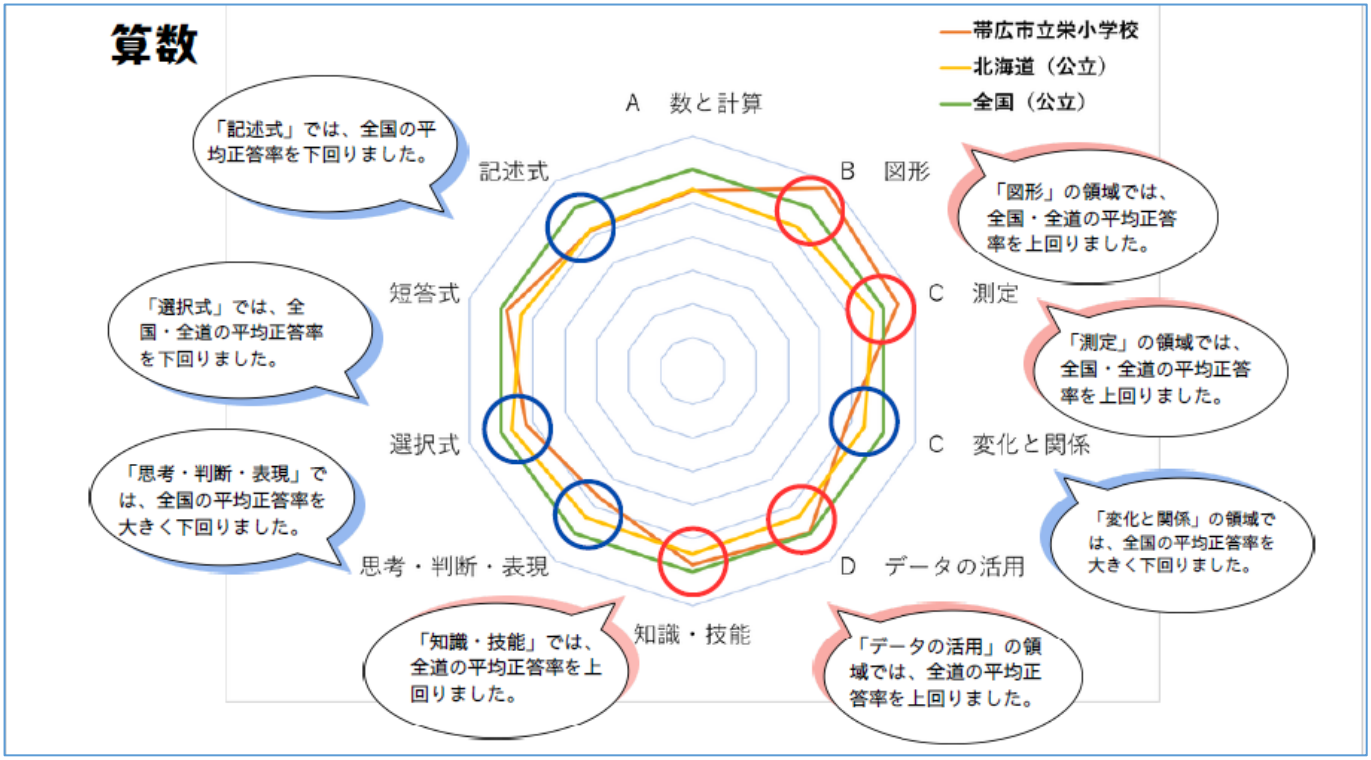
学力について



○国語における本校の平均正答率は、全国・全道を下回りました。

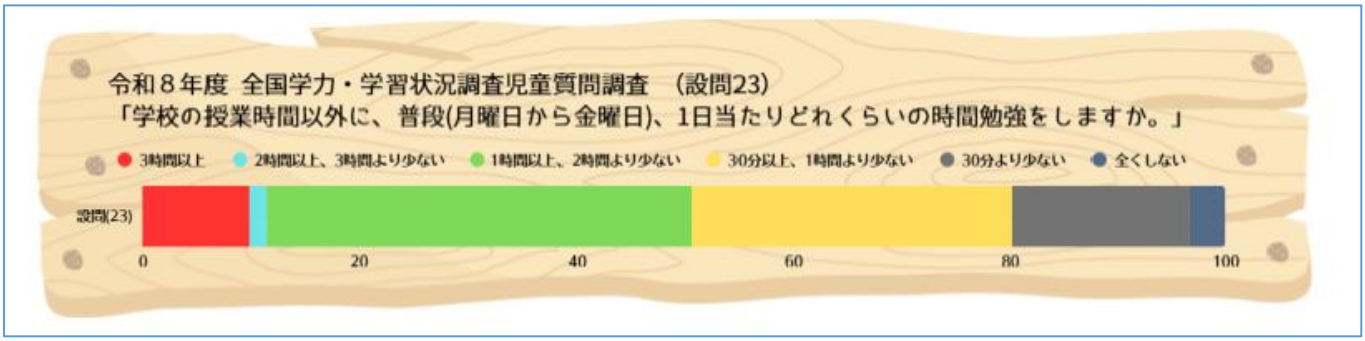
○日頃の授業の中で意図的に「書く」活動を取り入れていることや、一中エリア（一中・啓北小・北栄小・栄小）での共通した短作文の取組による効果で「書くこと」への苦手感は減り、「書くこと」において平均正答率が全道を上回りました。

○「話すこと・聞くこと」において平均正答率が全国・全道を下回りました。授業の中で、目的をもって相手に伝える場面を意図的に取り入れて「聞き手を意識した話す力」を育てるとともに、「話し方のモデル」や「話型」を示しながら経験を重ね、話す自信をもたせていきます。併せて、復唱や質問を取り入れながら聞く力を伸ばしていきます。



○算数における本校の平均正答率は全道平均と同率で、全国を下回りました。
○習熟度別少人数学習や放課後学習等の成果が表れ、正答数の少ない児童が減少しました。
○記述式の問題では、題意や条件をしっかりと読み取ることができるように、問題を丁寧に読むことを大切にしていきます。
○5年生までの学習内容の定着のために、宿題プリントや放課後学習等において復習に力を入れていきます。

家庭学習の状況について



回答した6年生の家庭学習目標時間は「10分×学年＋10分」で「70分」としていますが、目標時間を意識した家庭学習習慣の定着には課題が見られます。「30分より少ない」と回答した児童については、中学校で困らないためにも小学校のうちに、しっかりと家庭学習の習慣を身につけていく必要があります。

年3回の生活リズムチェックシートの取組を生かし、これからも学校と家庭が連携して子どもたちに家庭学習習慣を定着させ、学力向上を目指していきます。

お知らせ～帰宅時刻について

「よくわかる！栄小学校」でもお知らせしております通り、10月の帰宅時刻は、今年度から16時30分となっております。児童の安全を鑑みての変更ですので、ご理解、ご承知おきください。またこの機会に、お子さんと帰宅時間についてご確認をお願いします。